

神戸市公立大学法人 神戸市外国語大学 生成 AI 利用ガイドライン

(学生用)

【令和 7 年 7 月 1 日】第 1 版制定

学生のみなさんへ

近年、生成 AI（例：ChatGPT など）技術が急速に発展しており、これを学修における支援ツールとして活用することが期待されています。生成 AI を使うことで、迅速に情報収集を行ったり、新しいアイデアを生み出したりすることが可能になります。しかし、その利用には慎重さが求められます。本ガイドラインでは、生成 AI を学びの一環として適切に活用するための基本的な注意点をお伝えします。

1. 授業における生成 AI の利用について

生成 AI を授業で使用する際は、以下のルールを守ってください。また、教員が特定の授業において AI の利用制限を設ける場合があることを理解し、その指示に従って行動してください。

・ 参考資料として使用する際の明記

生成 AI が提供した内容を参考にする場合、必ずその出典元を明記し、AI の内容を自分のものとして提示しないようにしましょう。

・ 自己作成物としての提出禁止

生成 AI のみで作成されたレポートや論文を、あなた自身が作成したかのように提出することは厳禁です。AI は学習の補助として活用し、最終的なアウトプットは自分の思考や分析に基づいたものにしましょう。

・ 授業担当教員の指示に従う

授業ごとに AI 利用に関する方針が異なる場合がありますので、教員の指示に従い、AI を適切に活用してください。

2. 生成 AI の利用におけるリスクと留意点

(1) プライバシーとセキュリティ

生成 AI はインターネット上の膨大な情報を元に学習し出力を生成します。このため、次の情報は入力しないようにしてください。

- ・ 個人情報やプライバシー情報
- ・ 機密情報や秘密保持義務が課せられている内容
- ・ 虚偽の情報や他者に不利益を与える可能性のある内容

(2) 著作権および知的財産権

生成 AI はその出力として生成する情報が他者の著作権や知的財産権を侵害する可能性があるため、出力された内容に注意を払う必要があります。特に、著名人の名前や画像を含む内容に関しては、パブリシティ権にも配慮することが求められます。

(3) 情報の信頼性

生成 AI が提供する情報には、検証が十分でないデータが含まれている場合があります。AI の回答はあくまで参考程度にとどめ、必ず別の信頼できる情報源と照らし合わせて確認することが重要です。

(4) 倫理的な使用

生成 AI は膨大な情報を処理して出力を生成しますが、その結果に価値観やバイアスが含まれる場合もあります。そのため、生成された内容が倫理的に問題のあるものかどうかをよく考慮し、他者を傷つける内容を生成することは絶対に避けましょう。

(5) 学習データ利用拒否設定

本学で利用する全ての生成 AI サービスにおいて、ユーザー入力が次世代モデルの学習に利用されないよう設定（オプトアウト等）を行ってください。（※具体的な手順はサービスによって異なります。利用する各サービスの公式ドキュメントも確認してください。）

3. 創造的思考と自己成長

生成 AI は、情報を素早く処理し提供する能力に長けていますが、最も重要なのは、AI を自分の学びを深める補助的なツールとして使用することです。AI が提供する情報をそのまま使用するのではなく、それを出発点にして、自分自身の意見や考えを深めていくことが大切です。

また、創造的な問題解決能力を育むために、生成 AI を使う際はその過程を意識し、独自の思考力を培うことを心がけましょう。

4. 今後の見直しと更新

生成 AI 技術は急速に進化しています。このため、今後の社会情勢や技術の発展に応じて、本ガイドラインは随時見直し、更新される予定です。最新の情報を反映させることで、より適切に生成 AI を活用できるようにしていきます。